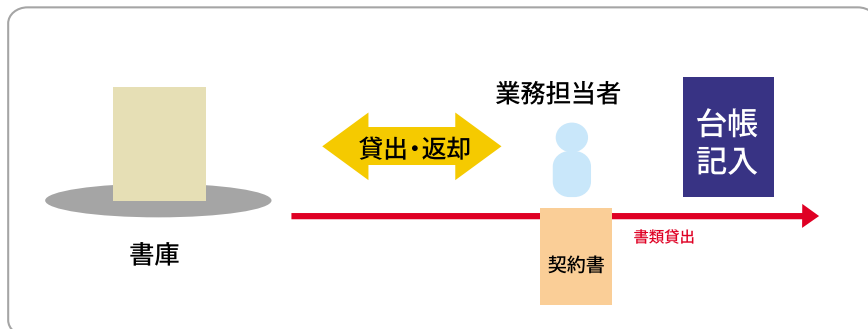


大量にある契約書類のリアルタイム管理を実現。

導入前

導入の経緯

契約書の管理は入退室管理のシステムだけで大丈夫ですか？ 薄い書類も大量かつ瞬時に認識できる日本信号の積層ICタグが、正確な薄い書類の持出し管理を実現し、さらに入退室システムとの連動により、より高いセキュリティの構築を実現しました。



解決すべき課題

- ① いつ、誰が書類を閲覧したのかわからない
- ② 書類の所在検索が大変
- ③ 書類の棚卸しに手間がかかる
- ④ 貸出し・返却の台帳記入が手間

保管書類リアルタイム管理システム 導入後

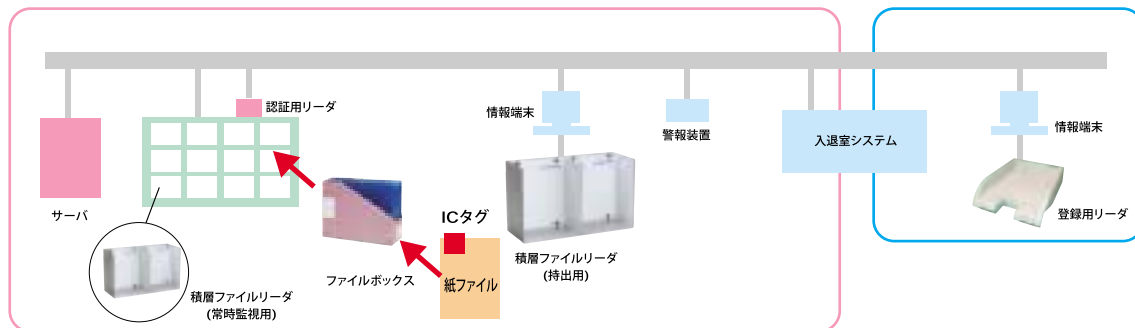
- 自動的に台帳作成
- 常時監視により、すぐに検索可能
- 常時監視により、常時棚卸しを実現

■システム全体図

目的：従来、入室制限のみでアクセス権限を、個人情報保護の目的から、契約者情報の閲覧・貸出しの管理まで正確に行う。

■書類保管室

■執務室



機能概要

- ・常時、書類検知
- ・書類位置検索、表示
- ・書類アクセス検知
- ・書類持出/貸出管理
- ・返却管理
- ・不正アクセス管理

導入機器類

- ・積層ファイルリーダ 163台
- ・積層トレイリーダ 3台
- ・積層ICタグ 1万5000枚

《システム概要》

- 契約者単位でICタグを貼付け、各書庫に設置されたリーダにより常時監視を行う。
- 書庫から書類を取出す際は、各書庫の上に設置されたリーダにカードをかざし、認証を行わず書類を持出すなどの不正があった時には警告装置が作動する。

導入効果

- 書類の所在が一目で分かり、書類検索に必要な時間を大幅に短縮する。
- 書類の取扱いを自動的に記録し、正確に管理できる。
- 不正持出しを防止し、情報保護強化に繋がる。